

# ザ・座談会

□ 39 □

県内の中学生が本音を語り合う「ザ・座談会」。今回は、宇都宮市上河内中3年の福田紘己さん、小野郁弥さん、上鈴木日菜さん、2年の山本脩太さんの4人が、スマートフォン(スマホ)との向き合い方について活発に意見を交わした。

― 司会・構成 小林睦美  
― 県教委の調査によると、中学2年生のスマホ使用率は6割を超えています。

上鈴木 クラスの3分の2は持っているよね。

福田 自分はゲームがやりたくて買った。

小野 友達とすぐつながれるから便利だし。

山本 周りが持ち始めてきたので僕も欲しいな。

― 1日どれくらいスマホに触っていますか？

小野 お風呂で30分。

― そもそも中学生にスマホは必要？

小野 友達からのLINEとインスタグラムが気になる。重要なこと、書いてないかなって。

山本 1日30分しか触っていないのに、依存になるなんて。

小野 友達からのLINE Eとインスタグラムが気になる。重要なこと、書いてないかなって。

## 最低限 自分でルールを

### 縛られ過ぎは意味ない

いる人もお互いに気まずい。

小野・上鈴木・福田 (必要、とうなずく)

― 担当の先生は「必要ない」

方が気軽に送れて安心。

小野 電話は、誰が出たのかで判断できない。それに、LINEは、LINEの会話がある。学校では

― スマホを使う際のルール

い。

福田 自分で勉強しなきゃという気持ちになれば、スマホはいじらない。

― スマホを使う際のルール

小野 でも、時間は決めた方がいいと思う。生活習慣がおかしくなりそう。

上鈴木 アプリの数を減らすとか。50個くらい入れている人いるじゃない。LINEとグループで十分。

― スマホを使う際のルール

福田 確かに迷惑メールへの対応とか、親を頼る時はある。でも、使う条件とかは任せてほしい。

上鈴木 親が決めたルールなら逆にやらなくなりそう。自分で決めていないから。自立っていうのかな。自分で最低限決めて、親も安心できるルールにしたらいいんじゃないかな。

山本 親は、僕たちを信用してスマホを持たせるわけじゃないですか。だから、その思いに応えられるように使わないと駄目だと思う。



上鈴木日菜さん



山本脩太さん



福田紘己さん



小野郁弥さん

ルは、あった方がいい？

小野 親と、ちゃんと話して使った方がいい。

上鈴木 自分じゃやりはりがなくなっちゃって、止めてもらわないと、しつかりできないかなって思う。

― いろんなルールがいいだろう。

山本 親の見えるところで携帯を使う。

小野 親に中身を見られてもいい。LINEの内容とか。

上鈴木 それは、嫌。中身は見られたくない。

福田 家族だんらんの時は使わないようにする。

上鈴木 自分にも生活リズムがある。

小野 でも、時間は決めた方がいいと思う。生活習慣がおかしくなりそう。

上鈴木 アプリの数を減らすとか。50個くらい入れている人いるじゃない。LINEとグループで十分。

― スマホを使う際のルール

福田 確かに迷惑メールへの対応とか、親を頼る時はある。でも、使う条件とかは任せてほしい。

上鈴木 親が決めたルールなら逆にやらなくなりそう。自分で決めていないから。自立っていうのかな。自分で最低限決めて、親も安心できるルールにしたらいいんじゃないかな。

山本 親は、僕たちを信用してスマホを持たせるわけじゃないですか。だから、その思いに応えられるように使わないと駄目だと思う。

― (第1日曜日掲載)